

神戸ロボットアイデアソン運営業務委託仕様書

1 委託業務の内容

神戸市（以下「甲」という）のロボット産業参入支援事業及び受託事業者（以下「乙」という）が本業務にて発掘した社会的課題やニーズに対し、乙はテーマに応じた最先端技術に関わるロボット分野の研究者を招聘、それぞれの専門的な知見・ノウハウを生かした課題解決策の提案を行い、AI・IoTなどの先端技術を活用したロボットの市内中小企業との共同開発を推進する。

【業務内容】

乙は、本業務で配置する専門コーディネータや、乙の構成員等が発掘した企業等の開発案件に対し、ロボット分野の研究者を中心としたディスカッションにより課題解決策の提案を行い、市内中小企業との共同開発へとつなげる「神戸ロボットアイデアソン」（以下「アイデアソン」という）の運営にかかる下記の業務を行う。

(1) アイデアソン事業

- ① アイデアソンで取り上げるテーマの決定
- ② 上記テーマに応じた複数の適切な研究者の選定
- ③ アイデアソンの開催に向けた関係者との各種調整、必要な資材の準備
- ④ 課題解決のためのアイデア出し、アイデアの絞り込みのディスカッションの進行及び課題解決策に基づく開発方針の決定
- ⑤ ①～④を踏まえた上で進める研究開発
- ⑥ ⑤の開発に必要な技術シーズの整理
- ⑦ その他、アイデアソンの運営に必要な業務

(2) 令和4年度アイデアソンの継続実施

- ① 令和4年度からのテーマ（課題）による事業の継続実施
※消防隊員が抱える課題に関する2つのテーマを実施中。実施状況等の詳細は企業秘密を有することから、事業者決定後に打合せにて説明する。継続実施の手法等については、協議の上決定する。
- ② ①にかかる関係事業者との共同開発研究の支援

(3) 専門ロボットコーディネータの配置

- ① アイデアソンにおける市内中小企業との共同開発体制の構築
- ② 上記(1)事業と市内中小企業のマッチングの実現
- ③ 上記(1)、(2)の実現に向けた支援、フォローアップ
- ④ 市内中小企業の技術シーズ調査
上記①～③を効果的に推進していくため、市内中小企業の技術シーズについての調査・情報収集を実施
- ⑤ 全国の大手企業等の開発案件の発掘
自身の経験、ネットワークを活用し、全国の大手企業等のサービスロボット・産業用ロボットに関する開発案件の掘り起しを実施

⑥ 上記④の開発案件に必要な技術を有する市内中小企業とのマッチング市内中小企業とのマッチング及びその後のフォローアップ

2 委託業務の履行場所等

本業務は、乙の主たる事務所、その他本業務の履行のために甲が必要と認める場所において履行する。

3 事業実績の報告

乙は、毎月7日までに前月の事業進捗管理報告書を提出する。また、年度末委託業務の完了後には、甲の指定する期日までに実績報告書を提出する。甲は提出された報告書の検査及び精算を行う。乙は、精算の結果、概算払いを受けた委託料に余剰金が生じた場合は、甲の指定した期日までに返納するものとする。